

デジタル技術を活用した観光振興について

令和4年10月28日

1-1. デジタル技術を活用した観光の推進（都の取組）

- 都では、感染症を契機としたデジタル化の加速などの社会変化を好機と捉え、デジタル技術の活用やDXの導入を促進

観光事業者のデジタル化の促進

- 観光事業者が生産性の向上や商品の高付加価値化を図るために行うデジタル化やDX導入の取組を支援
- <採択例>
- ・文化体験ツアー造成に係る顧客とガイド等のマッチングの自動化
 - ・宿泊施設におけるスマートカードキーの導入

DXによる旅行事業者のレベルアップ支援

- 旅行事業者に専門家を派遣し、DX化に向けた事業計画の策定を支援し、業務改善等が見込まれる計画実行に係る取組費用を助成
- <専門家派遣例>
- ツアー販売サイトの構築・改修、旅行予約アプリケーションの制作

多様なチャネルを活用したBtoBプロモーション

- 都内と海外の観光関連事業者向けのオンライン商談プラットフォームを開設（国内外の約120事業者が登録）
- 24時間365日海外のバイヤーにアクセス可能



オンライン商談プラットフォーム「Tokyo Tourism Connection」

オープンデータ化等による観光マーケティング支援

【統計データのダッシュボード化】

- 観光統計データのダッシュボードを構築し、各地域や事業者等のマーケティング活動を支援

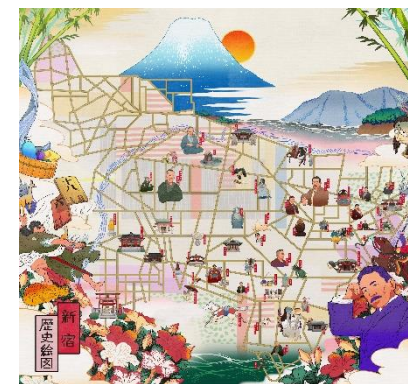
<観光統計データ>

- 訪都旅行者数、観光消費額、旅行者属性、訪都回数、満足度 等



【観光行動データを活用したマーケティング支援】

- 新宿エリアのデジタルマップを制作して旅行者に提供
- 取得した情報を観光関連事業者が活用できるように、オープンデータとして公開予定



新宿エリアのデジタルマップ

1-2. デジタル技術を活用した観光の推進（都の取組）

観光型MaaSの推進

- 多摩地域の観光客の利便性や回遊性の向上を図るため、観光型MaaSを実施

（満足度）75.2%

（再利用意向）84.7%

- 令和4年度は、多摩地域において、市町村や観光関連団体等の観光型MaaSの取組を支援



次世代型MICEの推進

- 国内外のMICE開催のテクノロジーの活用状況を調査し、MICE開催者向けのガイドラインを作成予定
- テクノロジーを使用する際の費用の助成を実施予定



ハイブリッド会議の様子



ロボットでのリモート参加

バーチャルスポーツを活用した観光振興事業

- 令和3年度、東京2020パラリンピックマラソンコースをバーチャル空間上に再現し、バーチャルスポーツ大会「TOKYO VR Racing 2021」を開催

（リアル参加）177人 （オンライン参加）2,860人

- コース上の観光地を紹介するPR動画を制作するとともに、SNSを活用した写真投稿キャンペーンを実施



VR空間上に再現したコース



バーチャルスポーツ大会の様子

- 令和4年度は、都内5地域でランやライドのバーチャルコースを制作、国内外に向けて地域の観光PRを展開



観光PR動画

2-1. 取組事例

➤ 海外では、都市やエリア一体を大規模なコンテンツ体験空間にするなど、デジタル技術を活用した取組を実施

バーチャル ヘルシンキ（フィンランド）

- ヘルシンキでは、スタートアップと連携し、バーチャル空間上で街なかを回遊することができる「バーチャル ヘルシンキ」を構築
- 現地での旅行が困難な人も観光を体験することが可能
- 人気バンドの演奏などを行うVappu Eve（メーデー前夜のイベント）をバーチャル空間上で開催（46万台のPCからアクセス）



バーチャル空間のヘルシンキ大聖堂



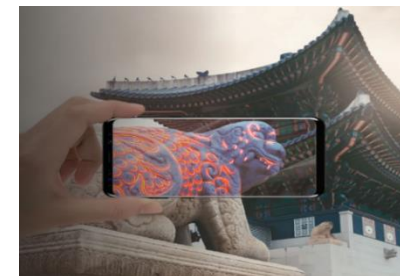
Vappu Eveの様子

光化時代（韓国）

- 様々な分野の事業者と連携し、ソウル市の光化門一帯をデジタルコンテンツの体験空間としたプロジェクトを実施
- デジタル技術と文化遺産等を掛け合わせ、8つの体験型コンテンツで世界中に都市の魅力を発信

【光鏡化（AR）】

指定の場所でアプリを起動すると、現実世界とバーチャル空間が組み合わせられた映像の視聴が可能



【光化風流（XR）】

光化門一帯を仮想現実ステージとして、オンラインXRライブ公演を開催



2-2. 取組事例

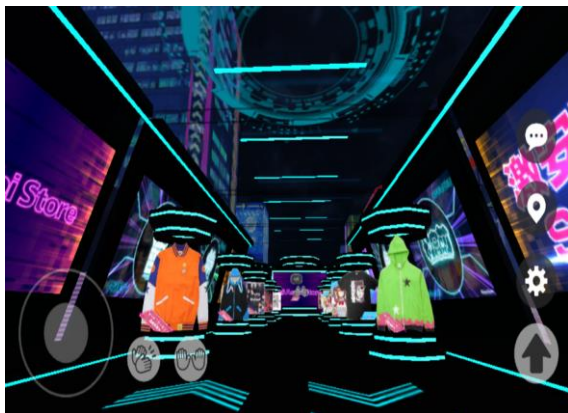
➤ 消費機会の拡大や新たな観光資源の開発等に向けて、観光分野においてもメタバースやXRなどの活用が進展

バーチャル秋葉原（大日本印刷株式会社）

- A K I B A 観光協議会等と協力し、リアルの街や建物とそっくりなバーチャル秋葉原エリアを構築
- 高精細なバーチャル空間上でのイベント開催や商品販売など、事業者と連携したXR体験のサービスを国内外に向けて提供
- 開始後の1か月間で約1万7千人がイベントやコミュニティに参加、海外企業からも好評で今後の期待も高い



バーチャル空間「バーチャル秋葉原」



NAKED XR TOUR（京浜急行電鉄株式会社）

- 観光庁・国土交通省と連携し、3D都市モデルをベースに横浜・みなとみらいエリアのメタバースを構築してXRコンテンツを開発
- XR技術と高精度位置認識技術を活用し、VRゴーグルを装着しながら周遊するXR観光バスツアーを運行
- 9割以上の予約率で約380名がツアーに参加、XRによる観光コンテンツの集客力及び注目度が高いことが判明



©NAKED, INC.



XR観光バスツアー